

農業振興センターの事業推進体制

～多様な主体との協働～

【飯田市農業振興センターの役割】

飯田市の農業振興を図るため、関係機関、団体の連携協力により、「地域経済を支える農業」と「農業を活かした地域づくり」を目指す

【構成団体】

飯田市・飯田市農業委員会・南信州農業改良普及センター・みなみ信州農業協同組合・下伊那園芸農業協同組合
南信酪農業協同組合・竜峡酪農業協同組合・竜西土地改良区・小渋川土地改良区・16地区農業振興会議・NPO法人みどりの風

【議決機関】

本部会議

事業報告・決算、事業計画・予算の承認等 構成団体から選出される理事で構成

【執行機関】

企画委員会

農地利用最適化推進委員、
NPO法人みどりの風、普及センター、JA、専門農協、市
(委員会は四半期に1回程度)

【役割】

- ・事業計画・予算作成(3月)
- ・企画・立案の決定
- ・事業進行管理(6・9・11月)

共同事務局会議

事務局長、副事務局長、事務局主任、
JA、園協、普及センター
(定期的な事務局会議の開催)

【役割】

- ・提案・要望等について情報収集
- ・構成団体に投げかけ検討会招集
(案件により必要なメンバーを選考)
- ・事業化に向けた企画・立案
- ・プロジェクトの立ち上げ
- ・各検討案件・プロジェクトの進行管理

農業振興センター事務局

事務局長、副事務局長、事務局主任、農業課・農業委員会事務局職員

地区農業振興会議

事務局

JAみなみ信州職員
市農業課・農業委員会

伴走型支援

相談
提案
情報収集

農業者・農業法人等

生産団体各部会

国、県、生産団体

情報収集

進行管理

プロジェクト(例)

稲発酵粗飼料
WCS試験
市、JA、専門農協、普及セ

農産物海外展開
三遠南信関係市、
ジェトロ長野、JA、
園協

農地バンク・中間
管理事業
市、JA、園協、農
業開発公社

市田柿ブランド
推進(GI)
県農政、普及セ、
市、JA、園協

担い手確保・育成
JA、市、町村、
農業法人

新たな
プロジェクト